

第3回 美瑛川地区かわまちづくりWG 資料

<目次>

1.これまでのWG開催状況

2.本日の議題

(1)樹木伐採について

(2)側帯盛土

(3)看板等

(4)アクセス道路

(5)利活用の促進

3.今後のWG開催スケジュール(案)

平成28年6月8日

美瑛川地区かわまちづくりWG運営事務局



1.これまでのワーキンググループ開催状況

○第1回

平成27年11月6日

WGの趣旨、かわまちの取り組み概要、今後の検討内容、現地の視察確認
(実際に美瑛川沿いをサイクリング)



○第2回

平成28年3月4日

必要な整備事項等について



○第3回

平成28年6月8日

第3回WGの事務局整理(案)について、地域との連携等について
(整備予定区間確認のため、美瑛駅～14線(舗装済み区間)をサイクリング)
※堤防未舗装区間は車による現地視察

2.本日の議題

◆現地確認事項

- | | | |
|-------------------------------|--|-------|
| (1) 樹木伐採 | 現状の伐採範囲、さらに伐採が必要な箇所 | 【P4】 |
| (2) 側帯盛土 | 盛土によって堤防の幅を広げた休憩スペース(側帯盛土)の位置や利活用方法、整備施設(四阿、駐車等)、景観等 | 【P7】 |
| (3) 看板等 | 起点位置、案内看板の位置・大きさ・デザイン、誘導ラインの大きさ等 | 【P12】 |
| (4) 堤防から川への
アクセス道路 | アクセス道路の長さ、景観等 | 【P24】 |

◆議論事項

- | | | |
|--------------------------------|-------------|-------|
| (5) 利活用の促進
(地域との連携) | 社会実験の実施について | 【P26】 |
|--------------------------------|-------------|-------|

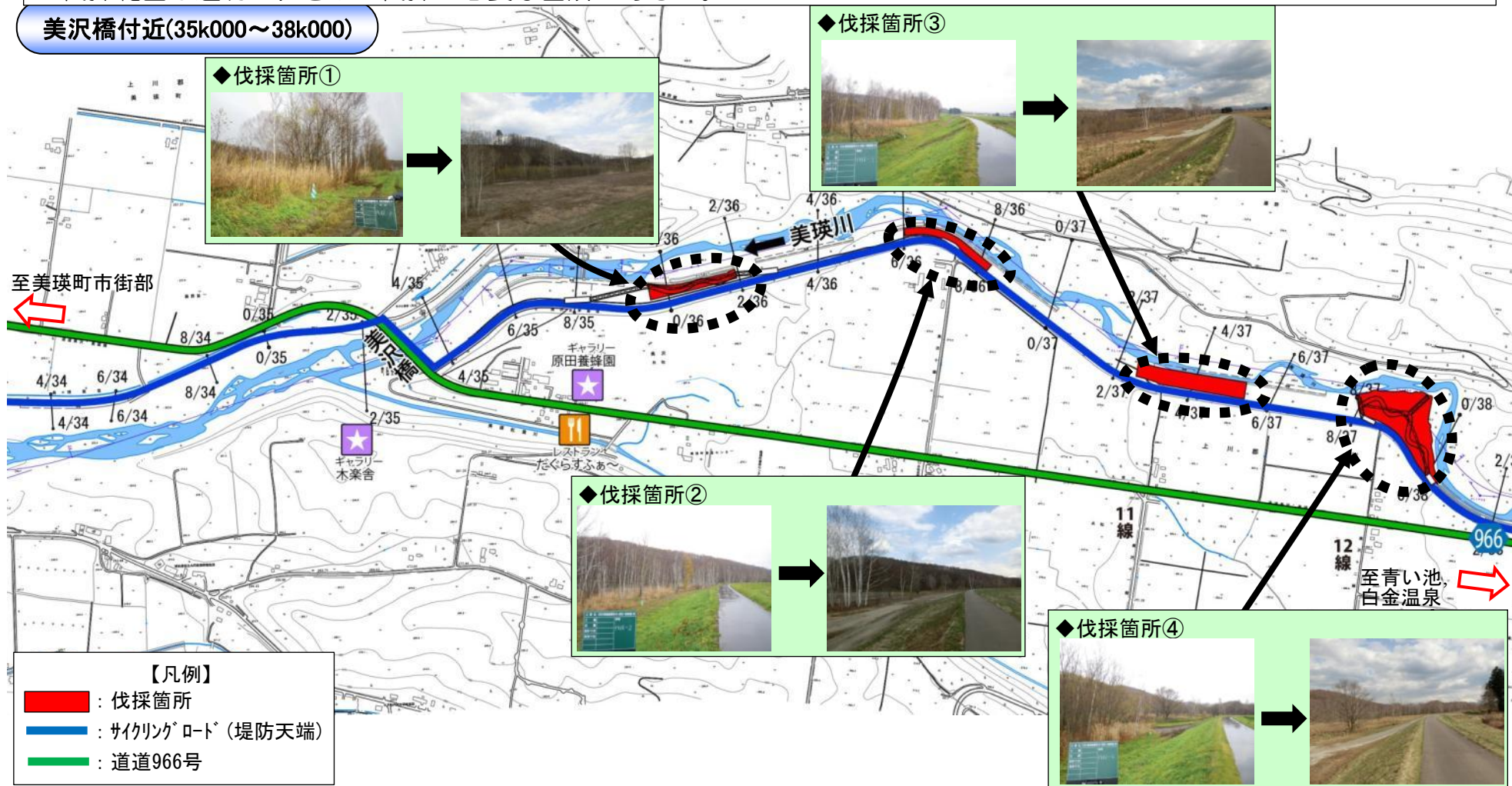
(1) 樹木伐採

- ・美瑛川や十勝岳の山並み、美しい畑等の眺望の確保や川との触れあいを目的に樹木を伐採しました。
- ・伐採箇所①～⑩は伐採が完了していますが、⑪は平成28年度に伐採する予定です。

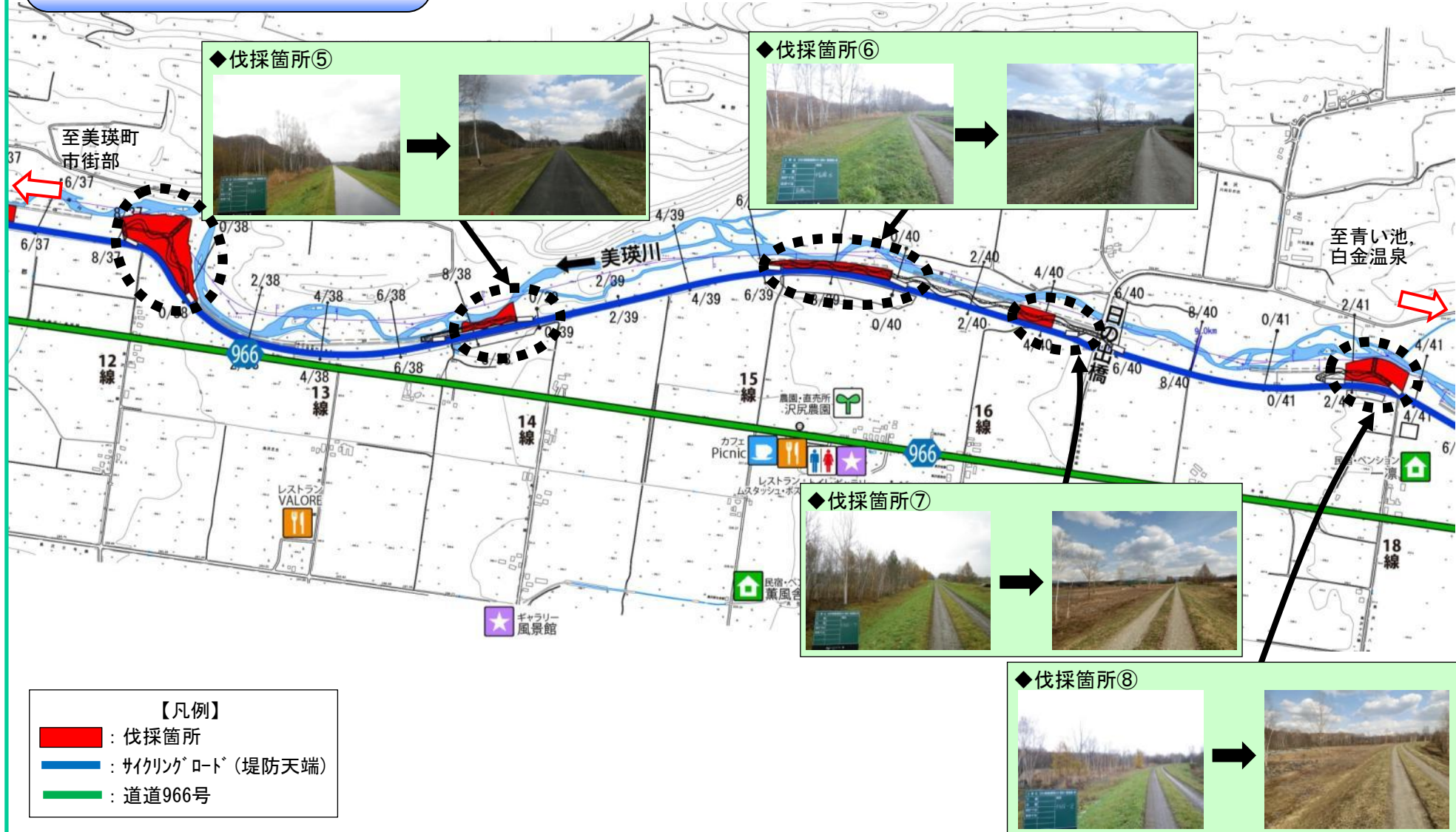
【確認のポイント】

- ・伐採範囲は適切か、さらに伐採が必要な箇所があるか。

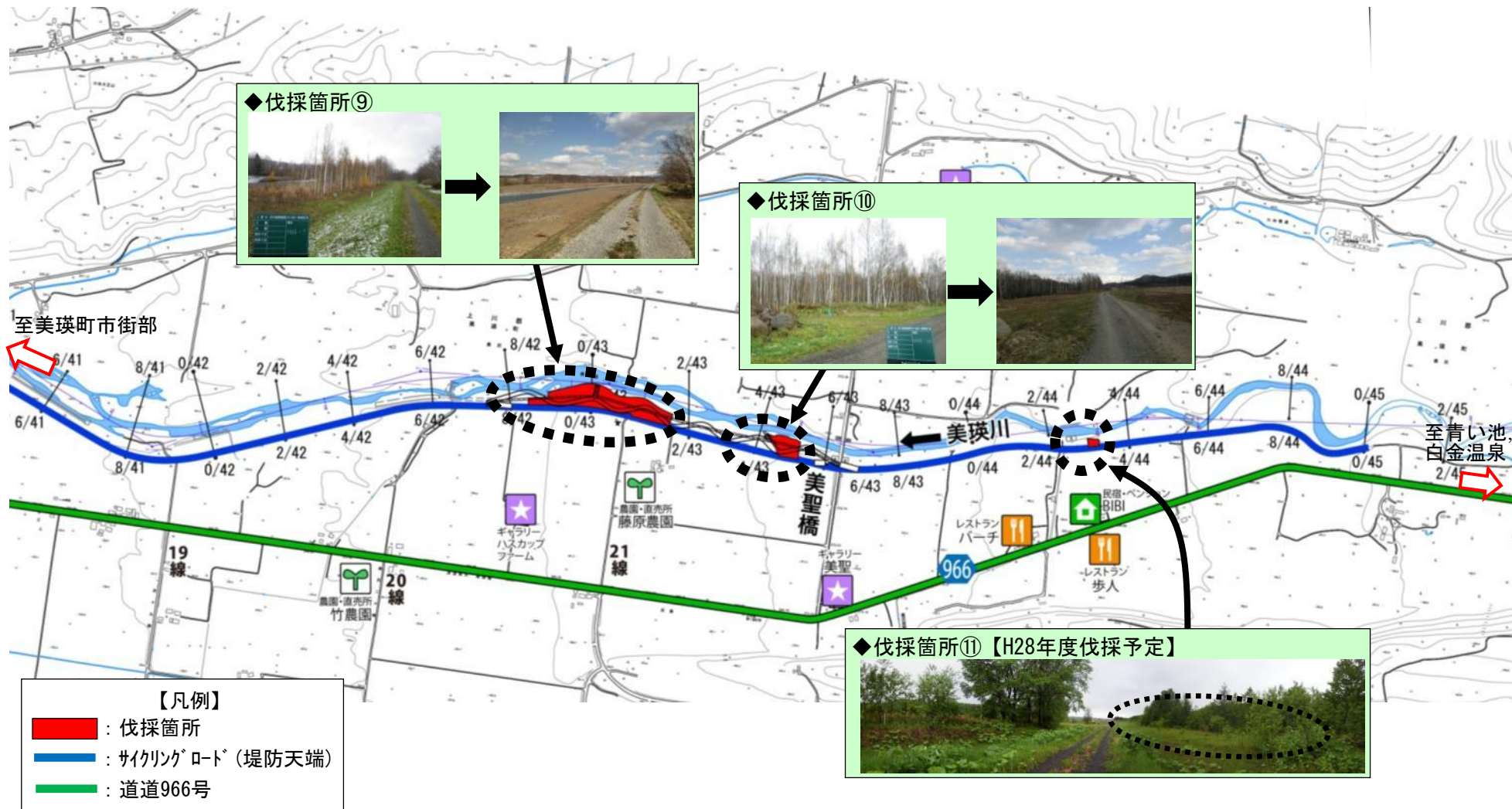
美沢橋付近(35k000～38k000)



日の出橋付近(38k000~41k600)



美聖橋付近(41k600～45k200)



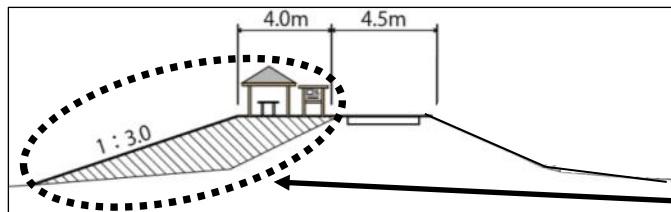
(2) 側帯盛土

・側帯盛土の候補地として、以下の条件に合う3箇所を選定しました。

- ◆条件①：河川の用地に余裕がある箇所
- ◆条件②：道道966号からのアクセスが容易な箇所
- ◆条件③：美瑛川や山並みなどの眺めの良い箇所

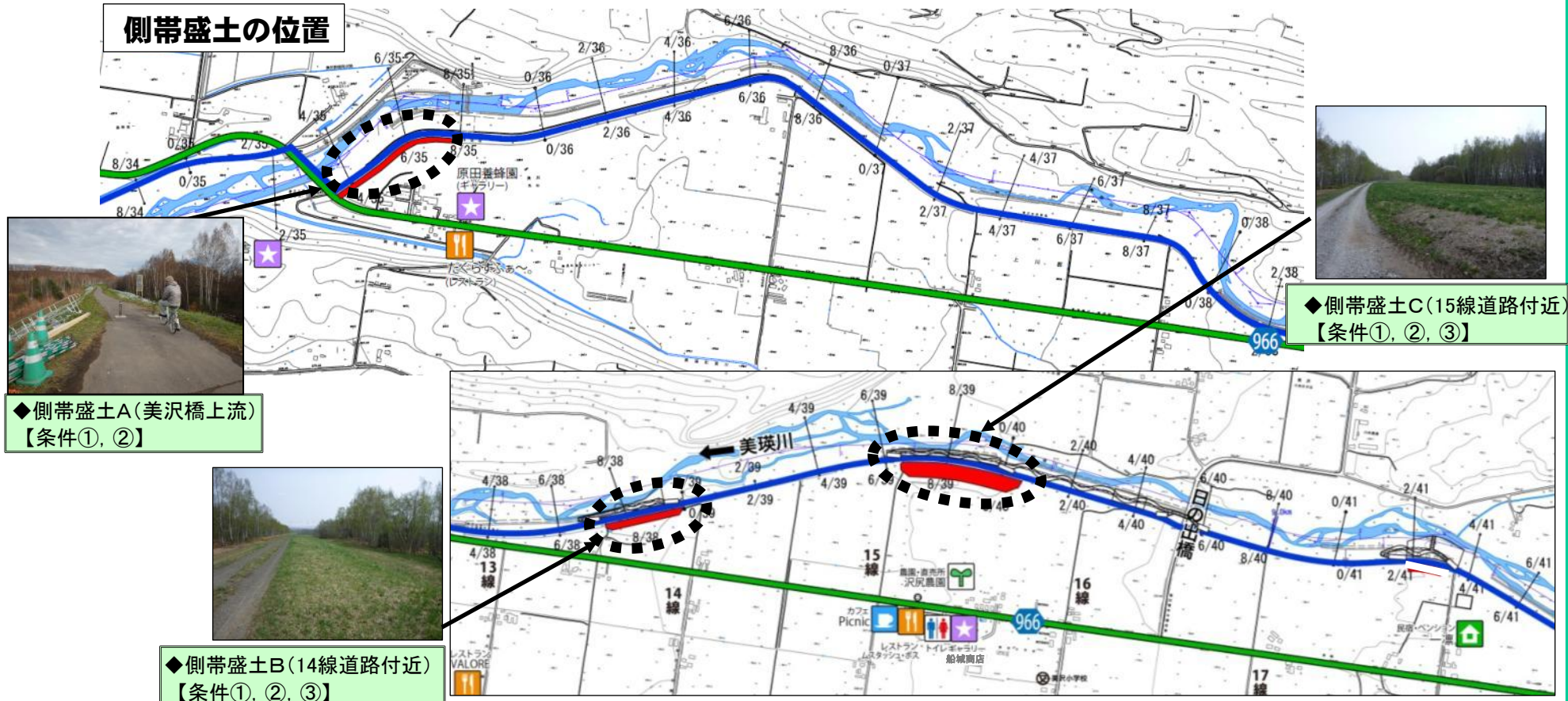
【確認のポイント】

- ・盛土位置、幅、盛土上の整備
- ・盛土周辺の景観



◆丸山橋 側帯盛土 事例

側帯盛土の位置



側帯盛土A（美沢橋上流）の整備イメージ

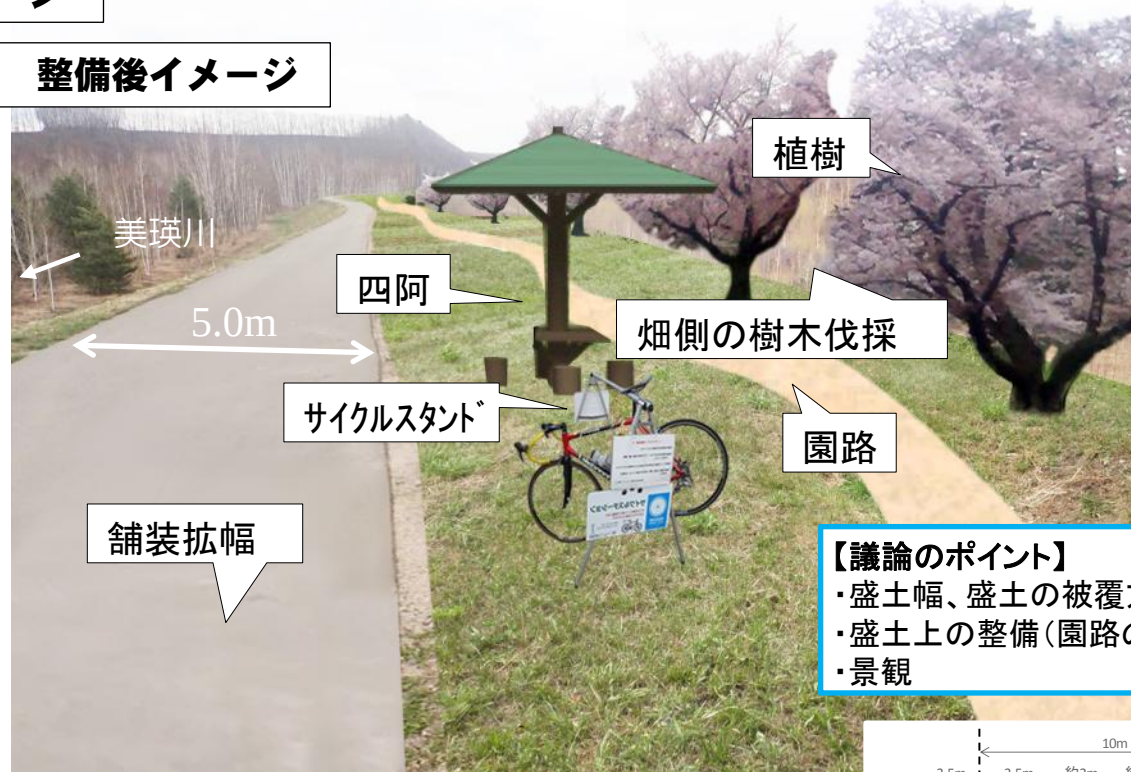
●第2回WG意見

- ①大規模な側帯盛土は、維持管理が大変。
- ②出入口の道道がカーブ箇所のため危険。駐車場として利用しない方が良い。
- ③自動車が間違えて入らないように車止めが必要。

整備前

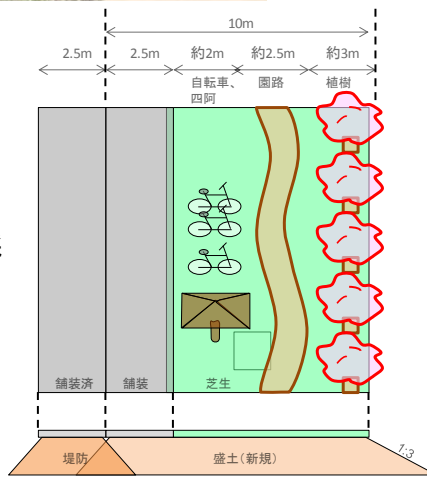
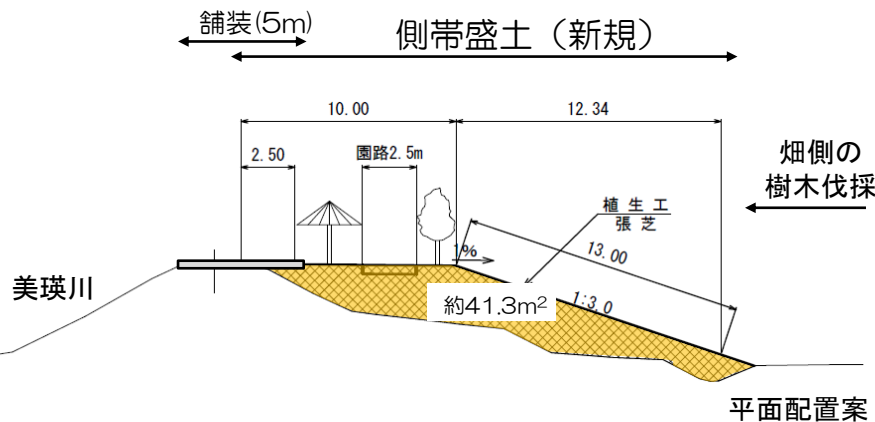


整備後イメージ



【議論のポイント】

- ・盛土幅、盛土の被覆方法
- ・盛土上の整備（園路の長さ等）
- ・景観



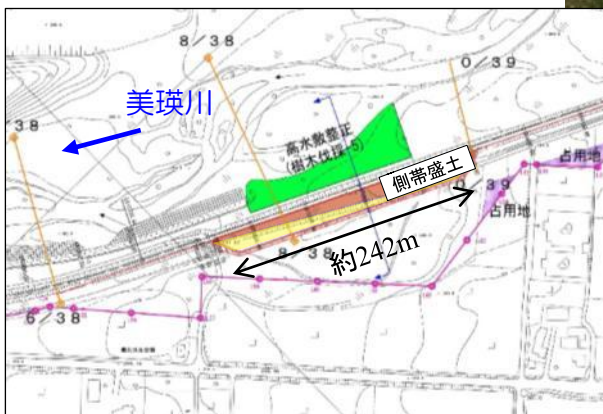
側帯盛土B（14線道路付近）の整備イメージ

●第2回WG意見

①A、Cの箇所と距離も近いので待避スペースとして幅を広げる程度で良い。

◆美沢橋から3km上流地点

整備前



整備後イメージ

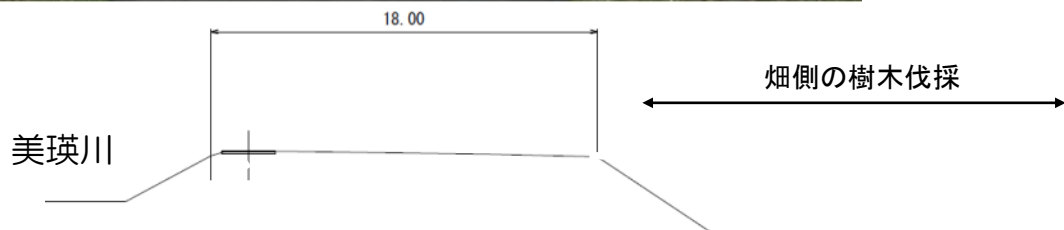


【議論のポイント】舗装を拡幅した場合の問題点

- ・場所ごとに幅が変化するのは走行しにくい
- ・幅が元に戻る(狭くなる)箇所で危険になる



※一般的に、堤防と盛土（側帯）を区分するため、盛土（側帯）は未舗装とされている。



側帯盛土C（15線道路付近）の整備イメージ

◆美沢橋から4km上流地点

整備前



【議論のポイント】

- ・盛土の被覆方法
- ・盛土上の整備
(子供用の練習スペース等)
- ・景観

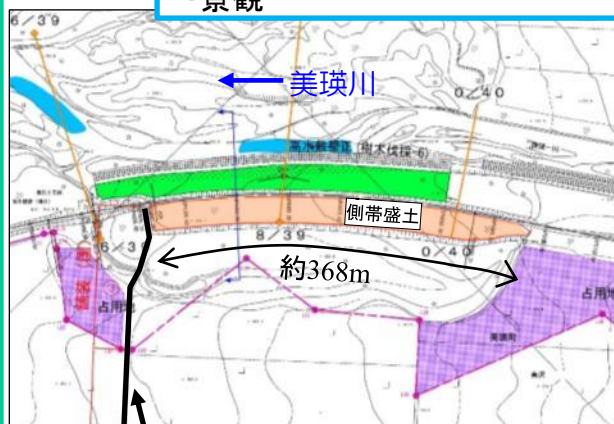
整備後イメージ（全面芝生）



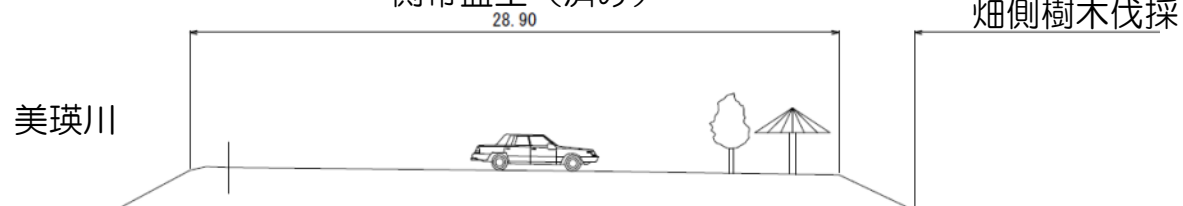
駐車場砂利



駐車場ブロック



側帯盛土（済み）

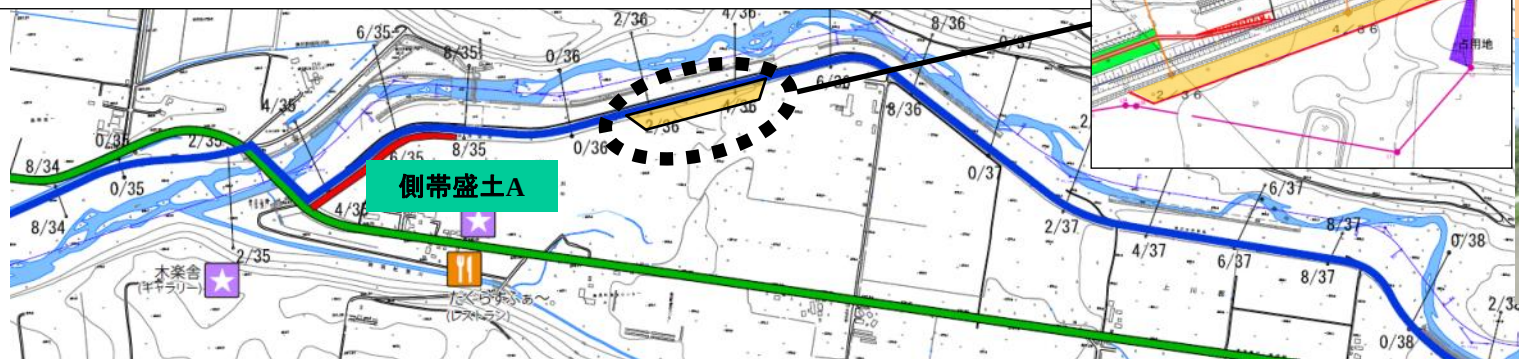


●第2回WG意見

- ①美沢地区の公衆トイレや周辺のカフェ等へのアクセスを考慮して、四阿、駐車場などの整備は必要。
- ②駐車場は、舗装までしなくても良い。

側帯盛土A～C以外の盛土候補地点

- ・河川用地内で新たに盛土が可能な箇所は3箇所あります。
- ・ただし、下流と上流のみで中間地点にはありません。

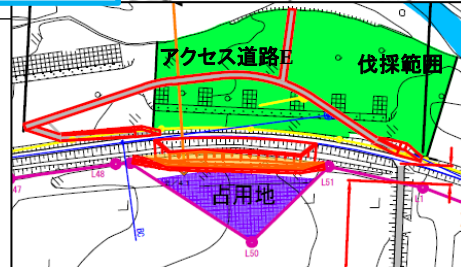


- ◆候補地点1 (36.2～36.4k)
- ・延長約380mで比較的広い場所が確保できる。
- ・側帯盛土Aから近い。

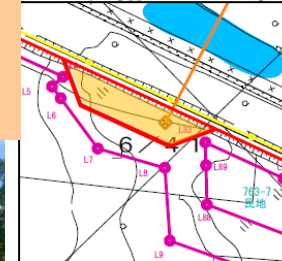


【議論のポイント】舗装を拡幅した場合の問題点

- ・場所ごとに幅が変化するのは走行しにくい
- ・幅が元に戻る(狭くなる)箇所で危険になる



- ◆候補地点2 (41.2k)
- ・アクセス道路Eの前
- ・延長約100m、幅は最大で10m確保可能。



- ◆候補地点3 (41.6k)
- ・延長約95m、幅は20m確保可能。



(3) 看板等（誘導看板、案内看板等）

・サイクリングロードの看板については、以下の3種類があります。

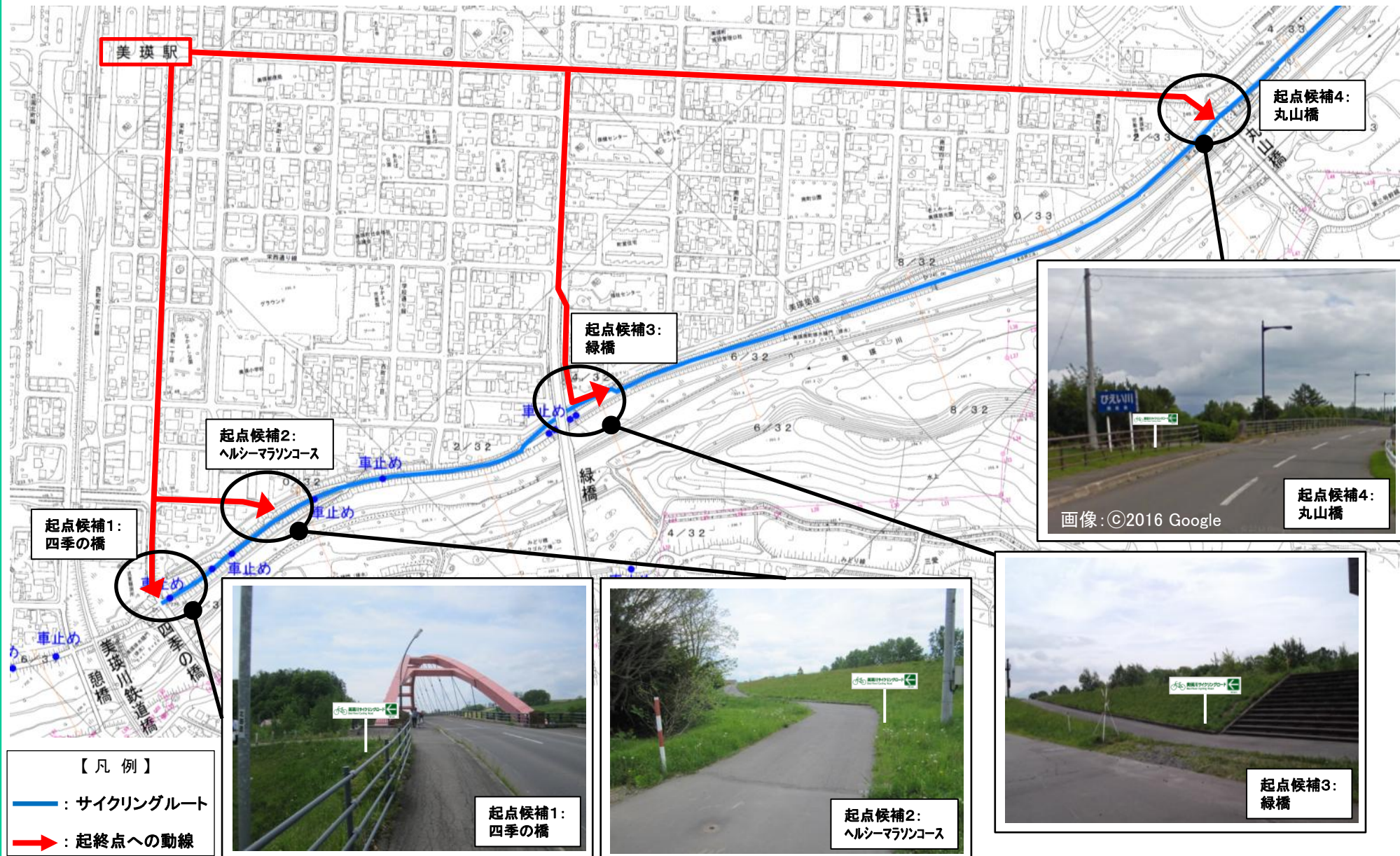
	看板の種類	目的	配置位置	検討内容	検討方針
①	誘導看板	サイクリングロード入口までの誘導	起終点周辺の一般道路	- 誘導経路の設定 - 掲載情報 - 配置位置	- 既設の誘導看板へは「美瑛川」を案内。 - 起終点部にサイクリングロードを案内。
②	案内看板	サイクリングルートや周辺の主要施設位置等の情報の提供	サイクリングロードの休憩場や主要地点	- 掲載情報 - 配置位置 - 掲載方法	現地にて原寸大の素案を提示し、内容を協議。
③	誘導ライン	主要な目的地と距離情報の提供	サイクリングロードへの路面標示	- 掲載情報 - 大きさ - 配置間隔	現地にていくつかの大きさを提示し、内容を協議。

種別	①誘導看板	
議論のポイント	・サイクリングロードの起終点の設定。	
概要	・サイクリングロードの起点は、美瑛駅周辺で安全にアクセス可能な箇所を選定する。 ・サイクリングロードの終点は、町道24線付近とする。	
内容	■ 起点の設定 (参考)ヘルシーマラソンのコース ■ 終点の設定 注：サイクリングロードの名称はWGの協議により決定する	・ 起点を、四季の橋、緑橋、丸山橋とすることが考えられる。 ・ 終点は町道24線付近とする。

●第2回WG意見

- ①美瑛町には複数のサイクリングロードがあり、美瑛川のサイクリングロードのみを考慮した誘導看板の設置とはならない。他のコースも含め案内をどうするか整理する必要がある。
- ②四季の橋は危険。四季の橋の手前からサイクリングコースに入るルート（ヘルシーマラソンのコース）が良いのでは。
- ③はじめての方は、美瑛川がどこにあるのかわからない。美瑛川の案内看板をつけるのも一案。
- ④駅前での区画整理完了後に看板のリニューアルを予定しており、美瑛川の案内を入れることは可能。

サイクリングロード 起終点の位置



種別	②案内看板			
議論のポイント	- どのような情報を掲載すべきか（ルート、休憩施設、観光施設等）。 - どこに配置すべきか（スペースが必要なため側帯盛土箇所を基本とする）。			
概要	- 地形、サイクリングコース、休憩施設、その他施設等の情報を掲載する。 - 利用者へのわかりやすさ、安心感を考慮し、掲載内容を決定する。			
検討内容	■案内看板の掲載内容 - 掲載内容が異なる3案からコースの特性を踏まえて最適案を決定する。 【美瑛川サイクリングコースの特徴】 ◇美瑛川サイクリングコースは美瑛川に沿った全長約20kmのコース ◇沿道には青い池や温泉をはじめとした観光資源が立地し、並行する道道にはカフェ、レストラン、ギャラリー等が点在			
		第1案: 精度の高い案内看板案	第2案: 中間案	第3案: デフォルメした案内看板案
	概要	コース延長や地形、施設位置等をスケールを持って表現	第1案と第3案の中間の案	サイクリングコースをデフォルメして表現
	事例			
	わかりやすさ	ルート 情報量が多いため直観的に全体像が認識しづらい 拠点 観光資源等の位置が正確に把握可能	中間	情報量が必要最低限のため直観的に全体像が認識可能
	安心感	情報量が豊富なため長距離コースでも安心感が得られる(目的地までの残距離、所要時間等)	中間	情報が少なく長距離コースでは安心感が得られにくい(目的地までの残距離、所要時間等)

掲載内容例	
掲載項目	掲載情報
地形	河川、道路
ルート	サイクリングコース 現在位置
休憩施設	休憩スペース 協賛施設
その他	公共施設・観光施設

利用者への安心感や観光振興等の視点から、「第1案：地図の精度の高い案」を推薦

●第2回WG意見

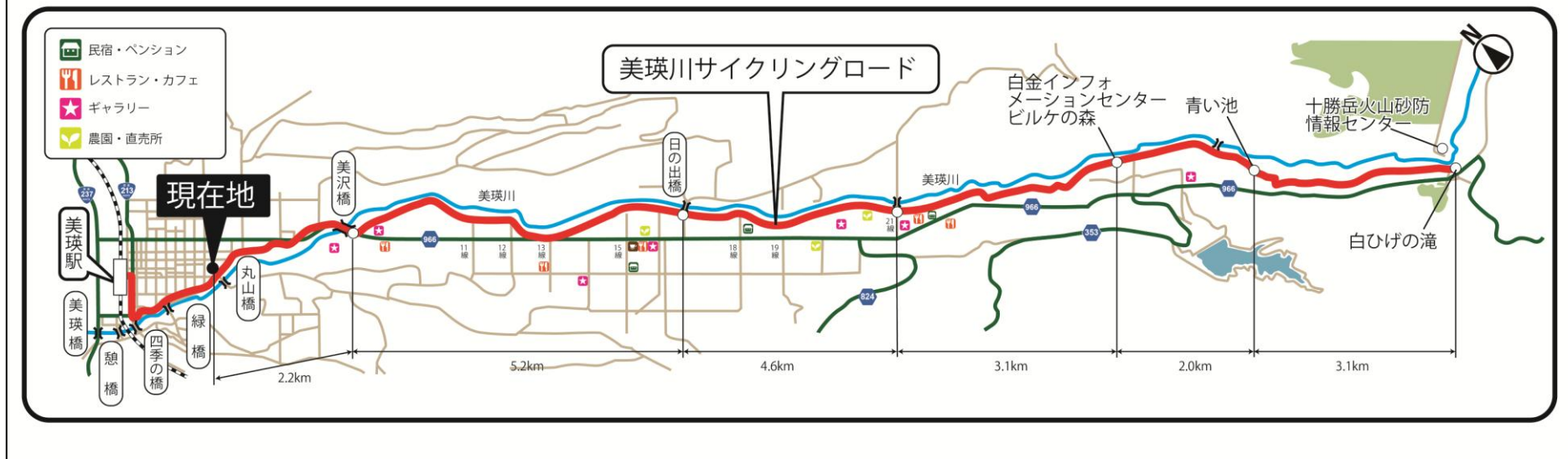
- ①景観を考慮したシンプルなデザインがよい。英語表記付きであるとよい。
- ②道道のトイレ位置などを示す案内表示は必要。
- ③スタート地点や休憩ポイントに全体の案内図や周辺の情報の看板があればよい。

■案内看板 第1案：地図の精度の高い案



■案内看板 第2案：中間案

美瑛川サイクリングロード案内図



美瑛川サイクリングロード



現地確認

■案内看板の配置位置（案）

概要

- ・サイクリングコースの起終点、休憩場、主な道路との交差部に配置する。
- ・自立式の看板として設置する（既存の河川標識の支柱は強度の関係から利用しない）。

看板の配置



現地確認

案内看板の配置位置（案）

概要

・自立式の案内看板は、自転車利用者の目に留まりやすい位置に配置する。

	起点候補1(四季の橋)	起点候補2(ヘルシーマラソコース)	起点候補3(緑橋)	起点候補4(丸山橋)
誘導・案内看板の配置位置				
案内看板配置イメージ				

航空写真:画像©2016 Google、地図データ © 2016 Google、ZENRIN

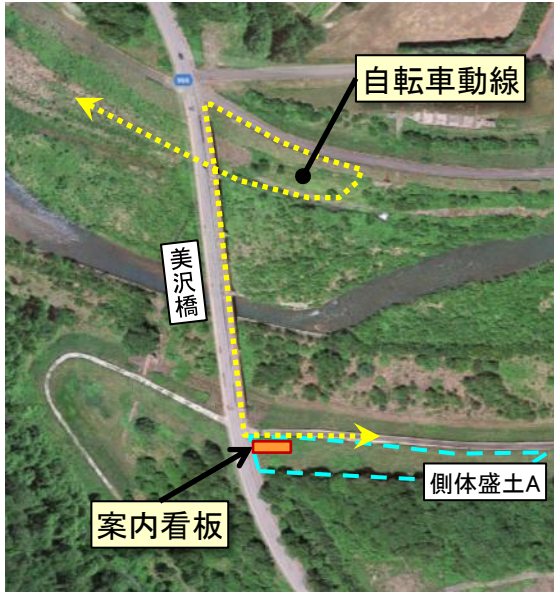
※この配置計画(案)は事務局案であり、配置計画については今後WGの中で議論していく。 20

現地確認

■案内看板の配置位置（案）

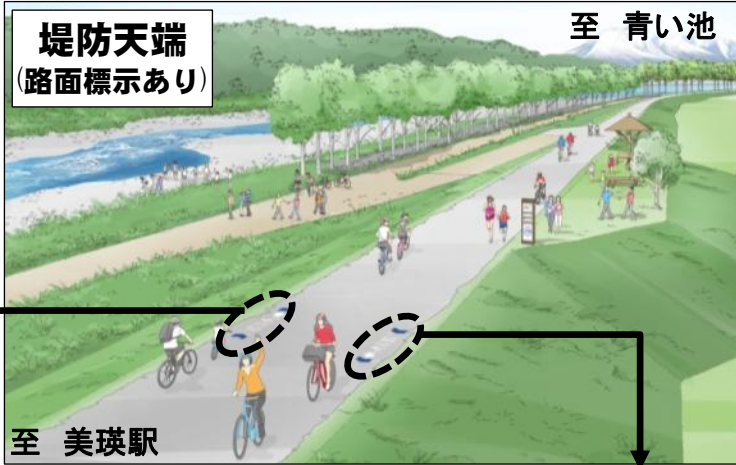
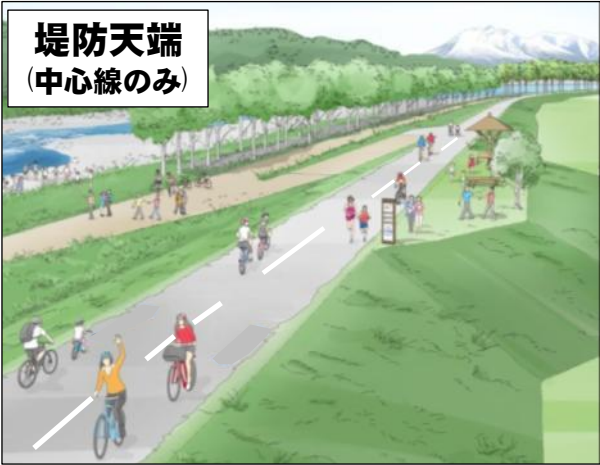
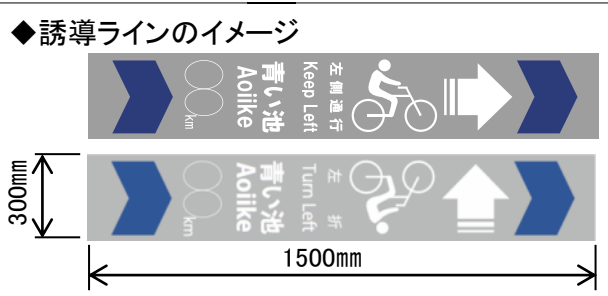
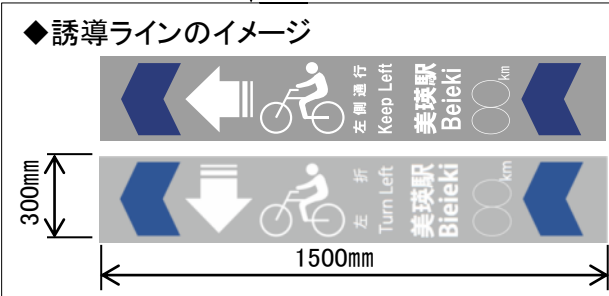
概要

・自立式の案内看板は、自転車利用者の目に留まりやすい位置に配置する。

	休憩場①(側体盛土A)	休憩場②(側体盛土B)
誘導・案内看板の配置位置		
案内看板配置イメージ		

航空写真:画像©2016 Google、地図データ © 2016 Google、ZENRIN

※この配置計画(案)は事務局案であり、配置計画については今後WGの中で議論していく。 21

種別	③誘導ライン
議論のポイント	・ 大きさはどの程度がよいか ・ どのような情報（駅、カフェ、トイレ、宿泊施設、観光名所等）を記載すべきか。
概要	・ 堤防天端が狭いため、標識柱ではなく、路面標示による誘導を行う。 ・ 路面標示により、主要地点（美瑛駅や青い池等）までの方向と距離、左側通行の注意喚起を行う。
整備事例	 堤防天端 (路面標示あり) 至 美瑛駅  堤防天端 (中心線のみ) ◆誘導ラインのイメージ  300mm 1500mm ◆誘導ラインのイメージ  300mm 1500mm ◎直線における路面案内表示は、概ね1km毎に表示。 ※「富良野・美瑛観光圏サイクリングルート案内表示及び安全対策基準」事例

●第2回WG意見

- ①案内看板を増やすより、誘導ラインの方が景観を壊さなくて良いのでは。
- ②誘導ラインは、長さ1.5mだと文字が小さく走行中の確認は困難。
- ③距離的な表示であれば、既存の美瑛川キロポストを利用するのも良い。

現地確認

種別	③誘導ライン
確認のポイント	・ 大きさはどの程度がよいか
概要	・ 大きさの違う3種類の誘導ラインを設置、現地で走行中の見え方を確認
現地確認	以下の3種類の誘導ラインを現地に設置 約10m 約10m 300mm 450mm 600mm 1500mm 2250mm 3000mm オリジナル オリジナル×1.5 オリジナル×2.0 進行方向 現地設置箇所 36.4k付近(アクセス道路Aの上流) ◆堤防舗装上のキロポスト 例)美瑛川右岸側35キロ 河川の河口や合流点からの距離を示す。 ※1km毎に表示

※自転車走行速度を15km/hとすると、15km/h=4.2m/s

●第2回WG意見

- ①案内看板を増やすより、誘導ラインの方が景観を壊さなくて良いのでは。
- ②誘導ラインは、長さ1.5mだと文字が小さく走行中の確認は困難。
- ③距離的な表示であれば、既存の美瑛川キロポストを利用するのも良い。

(4) 堤防から川へのアクセス道路

・堤防から川へアクセスするための道路の候補地として、以下の条件に合う6箇所を選定しています。

◆条件①：高水敷幅が広く道路の整備が可能な箇所 ◆条件②：美瑛川や山並みなどの眺めの良い箇所(樹木伐採箇所)

アクセス道路の位置



【確認のポイント】

- ・アクセス道路の長さは妥当か。
- ・アクセス道路からの眺めは良いか。

◆アクセス道路A

◆アクセス道路B

◆アクセス道路C

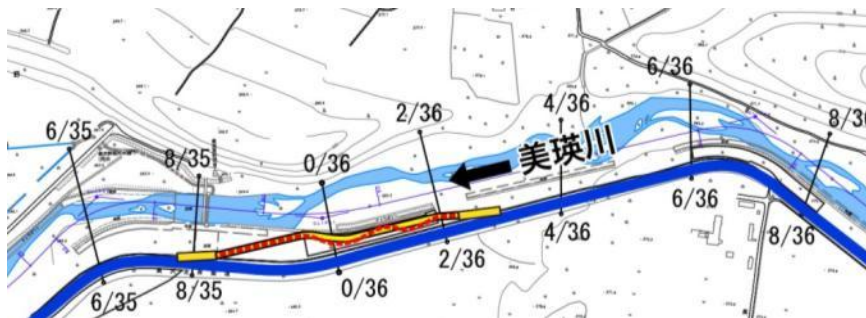
◆アクセス道路D

◆アクセス道路E

◆アクセス道路F



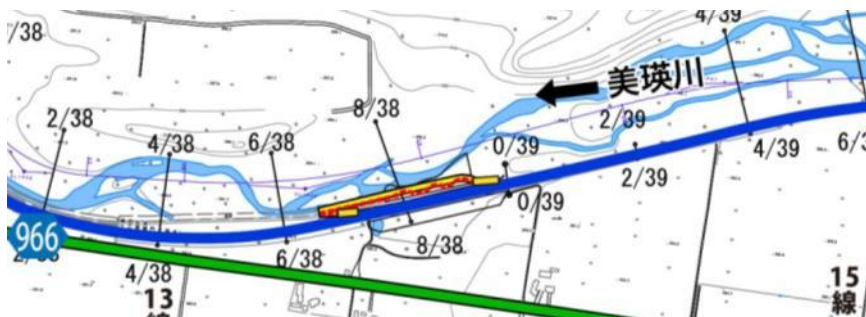
アクセス道路A（美沢橋上流付近 延長370m）



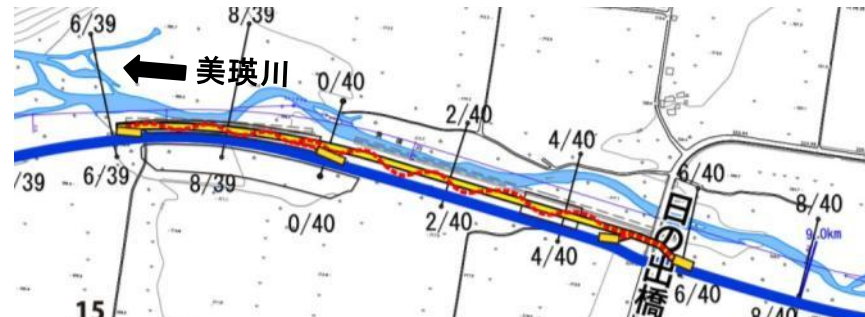
アクセス道路B（12線道路付近 延長420m）



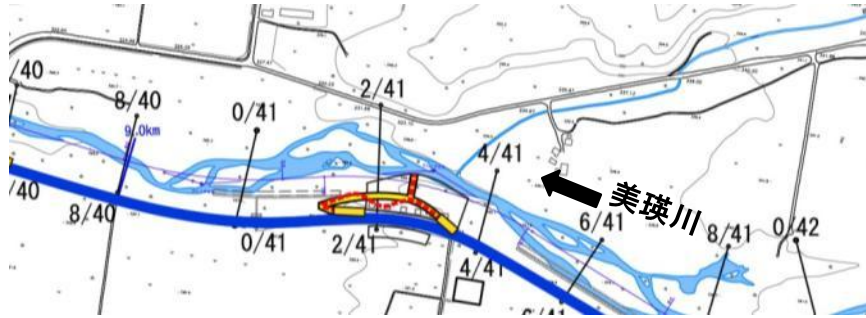
アクセス道路C（13線道路上流付近 延長270m）



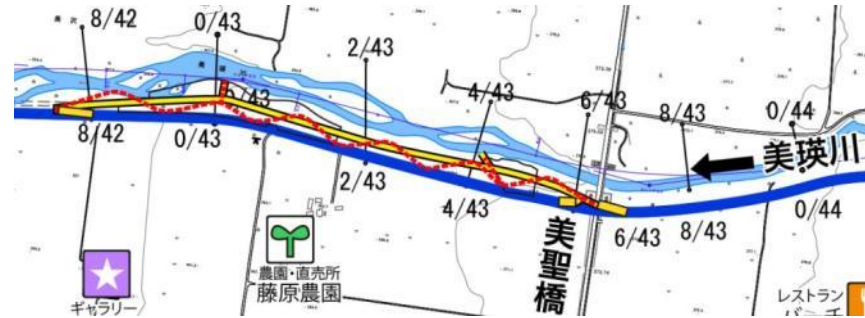
アクセス道路D（日の出橋下流付近 延長950m）



アクセス道路E（18線道路付近 延長240m）



アクセス道路F（美聖橋下流付近 延長950m）



●第2回WG意見

- ①くねくねしていたら、自転車に乗っていて大変。
- ②長いアクセス道路は、維持管理が大変では。
- ③日の出橋・美聖橋のアクセス道路はこの長さは必要ない。それよりも待避所みたいに広くして山を見るなどのポイントにした方がよい。
- ④木を伐採した後の川のイメージがつかないので雪解け後に再度現地を確認した方がよい。

(5) 利活用の促進（地域との連携）～社会実験の実施（予定）～

・サイクリング利用者によるサイクリングコースや周辺施設等の利用増加を図るため、サイクリングの利便性向上となるサイクリングスタンドや空気入れ、修理道具等の設置が考えられるが、これらのサポート設備を周辺施設等に設置し、その有効性、必要性を検証するための社会実験を行う。

【議論のポイント】

- ・ 内容、期間、社会実験箇所、設置する設備について
- ・ 効果的な告知方法について

1. 期間

自転車利用の多い1ヶ月間（夏休み7月中旬から8月中旬を予定）

2. 社会実験箇所

- 1) 公共施設（白金インフォメーションセンター、観光センター等）
- 2) 一般施設（別途アンケート結果を反映、15施設程度 → 今後、協力いただけるか確認する）

3. 設置する設備等

- ・ サイクルスタンド、空気入れ、工具（現状ないところには貸与）
- ・ 社会実験中であることが分かる看板・ちらし・のぼり等（貸与）

4. ニーズの把握

- 1) アンケート調査：社会実験施設にアンケート用紙を設置、期間終了後に回収（ただし、受け身の調査のため回収数が少ない可能性あり）
- 2) ヒアリング調査：期間の内、1日を設定して、アンケート用紙を利用し、自転車利用者及び施設に対してヒアリングを行う。

5. 告知

- ・ 美瑛町、美瑛町観光協会、旭川開建のホームページ
- ・ 各施設のホームページ
- ・ ポスター（社会実験協力施設及び美瑛町内主要施設）



サイクルスタンド設置例
表 別途アンケート結果（数字は施設数）

アンケート項目	実施済み	実施予定	予定なし
自転車ラック又は自転車を施錠できる駐輪場	9	6	7
給水可	17	3	2
トイレの貸し出し	17	4	1
...	...	...	...

この15施設を対象とする

※美瑛町内の24施設等から回答有り

(5) 利活用の促進（地域との連携）～（参考）既往アンケート調査～

・「シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート」の検討において、「サイクルサポート施設」に関するアンケート調査が実施されている。

《アンケートの概要》

※アンケートは平成28年1月実施

サイクリストが立ち寄りやすいお店や観光施設を「サイクルサポート施設」としてマップ等に掲載したいと考えています。
ついては、マップに掲載を希望される方は以下のアンケートにお答えください。

1. 基本情報

- ①掲載を希望する施設名
- ②施設の住所
- ③電話番号
- ④定休日/営業時間
- ⑤記入者名又は担当者名

2. サイクリストへの対応として、実施済、もしくは実施予定のものは何ですか？

- (①実施済み、②今後実施予定、③予定なし)
- ・自転車ラック又は自転車を施錠できる駐輪場
- ・給水可(無料)
- ・トイレを貸し出し
- ・ベンチ等の休憩スペース
- ・空気入れ設置
- ・工具設置
- ・サイクルマップ等のパンフレットを常備
- ・その他()

3. 来年度以降、施設が「サイクルスポーツ施設」をわかるように掲示する看板・サイン(のぼりなど)を作成する可能性があります。
その場合、次のどれを希望するか○をつけてください。

- ①無料であれば、店前に掲示したい
- ②有料でも購入し、掲示したい(その場合の金額)
- ③必要ない

4. 自由意見

(5) 利活用の促進（地域との連携）～アンケート案～

【議論のポイント】

- ・アンケート調査内容について（聞いておくべき項目に不足がないか）

サイクリング利用に関するアンケート調査

美瑛町のより良いサイクリングロードづくりに反映するため、アンケート調査にご協力をお願いします。
今回の調査で知り得た個人情報は、調査の目的以外に使用いたしません。また、ご回答いただいた調査票やデータも適切に処理し、調査の目的以外に利用することはありません。

1. あなたのことについて教えてください。

Q1：あなたの性別を教えてください。

- 1 男性 1 女性

Q2：あなたの年齢を教えてください。

- 1 20歳未満 2 20～29歳 3 30～39歳 4 40～49歳 5 50～59歳 6 60歳以上

Q3：あなたの住んでいる地域を教えてください。

- 1 美瑛町 2 旭川市 3 上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町 4 札幌市
5 その他道内（ ） 6 道外（ ）

Q4：あなたの乗っている自転車を教えてください。

- 1 ロード車 2 マウンテンバイク 3 シティサイクル 4 一般車（ママチャリ）
5 レンタサイクル

Q5：本日の目的地を教えてください。

- 1 青い池方面 2 サイクルロード周遊 3 その他（ ）
4 特になし

2. サイクリング休養施設について教えてください。

Q6：こちらにはどのような目的で寄りましたか（複数回答可）

- 1 休憩 2 食事 3 トイレ 4 自転車の修理（空気入れ）
5 社会実験をやっているから

Q7：サイクリング休憩施設として、何があれば立ち寄ろうと思いますか（複数回答可）

- 1 サイクルラック 2 空気入れ等の工具 3 トイレ 4 飲み物・自動販売機
5 軽食販売 6 休憩場所（ベンチ等） 7 WiFi 環境 8 パンフレット・マップ
9 その他（ ）

Q8：サイクルラックは利用しましたか。

- 1 利用した 2 利用しなかった 3 気付かなかった

Q9：サイクルラックの利用しやすい条件は何ですか。

- 1 目立つ場所にある 2 目の届く場所にある 3 休憩施設の近くにある
4 鍵が付いている 5 その他（ ）

Q10：工具として空気入れを設置しましたが、その他に必要な工具有りますか（複数回答可）

- 1 パンク修理工具 2 六角レンチ・ドライバー等の工具 3 その他（ ）

Q11：このような休憩施設はどのくらいの間隔で利用できるとよいですか。

- 1 5km 程度 2 10km 程度 3 その他（ ）

Q12：休憩施設に望むことがありましたらご回答ください。

例えば、上記以外にあると便利な設備等

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

(5) 利活用の促進（地域との連携）～社会実験の告知～

【議論のポイント】

- ・告知方法について

○パンフレット(ちらし)

- ・国事務所、町役場、観光協会、各店舗等に設置

自転車利用環境の向上に向けた
社会実験を実施します

■社会実験とは
場所と期間を限定して実際に体験していただき、皆さんの幅広い意見を採り入れながら、今後の整備を行っていくものです。今回のご意見については、現在検討している「美瑛川地区かわまちづくり（美瑛川サイクリングロード）」へ反映していきます。

■社会実験の内容
期間：平成 28 年 7 月 〇 日～8 月 〇 日
実施場所：裏面の施設、店舗
実施内容：サイクルスタンド、空気入れ、工具等の設置
その施設で利用可能なものを入口に表示（トイレ、自動販売機、ベンチ等）

イメージ

サイクルスタンド、空気入れの設置

入口における表示

「しまなみサイクルオアシス」のサービス

空気入れ
このサービスは、自転車の空気不足を解消するためのサービスです。空気不足の自転車は、サイクリングロードの安全を脅かす可能性があります。このサービスを利用することで、安全なサイクリングが可能になります。

トイレ
このサービスは、サイクリングロード沿いのトイレを利用するためのサービスです。トイレの利用は、サイクリングロードの安全を脅かす可能性があります。このサービスを利用することで、安全なサイクリングが可能になります。

自動販売機
このサービスは、サイクリングロード沿いの自動販売機を利用するためのサービスです。自動販売機の利用は、サイクリングロードの安全を脅かす可能性があります。このサービスを利用することで、安全なサイクリングが可能になります。

ベンチ
このサービスは、サイクリングロード沿いのベンチを利用するためのサービスです。ベンチの利用は、サイクリングロードの安全を脅かす可能性があります。このサービスを利用することで、安全なサイクリングが可能になります。

美瑛町バージョンに差し替え

■アンケートにご協力ください
各施設、店舗には、アンケート用紙を設置しています。利用した感想、もっとこうしてほしい、などのご意見をご記入ください。

主催：国土交通省北海道開発局旭川開発建設部、美瑛町、美瑛町観光協会

○ホームページ

- ・WGのサイトにホームページを作成
- ・各HP等から本HPへリンクを張ってもらう

社会実験

自転車利用環境向上のため、社会実験を実施します！

〇目的
自転車利用環境の向上に向けて、社会実験を実施します。いただいた意見は、「美瑛川地区かわまちづくり（美瑛川サイクリングロード）」へ反映していきます。

〇実施概要
実施期間：平成28年7月〇日～8月〇日
実施場所：添付資料参照
実施内容：サイクルスタンド、空気入れ、工具等の設置
施設で利用可能なものを入口に設置

イメージ

サイクルスタンド、空気入れの設置

入口における表示

「しまなみサイクルオアシス」のサービス

空気入れ
このサービスは、自転車の空気不足を解消するためのサービスです。空気不足の自転車は、サイクリングロードの安全を脅かす可能性があります。このサービスを利用することで、安全なサイクリングが可能になります。

トイレ
このサービスは、サイクリングロード沿いのトイレを利用するためのサービスです。トイレの利用は、サイクリングロードの安全を脅かす可能性があります。このサービスを利用することで、安全なサイクリングが可能になります。

自動販売機
このサービスは、サイクリングロード沿いの自動販売機を利用するためのサービスです。自動販売機の利用は、サイクリングロードの安全を脅かす可能性があります。このサービスを利用することで、安全なサイクリングが可能になります。

ベンチ
このサービスは、サイクリングロード沿いのベンチを利用するためのサービスです。ベンチの利用は、サイクリングロードの安全を脅かす可能性があります。このサービスを利用することで、安全なサイクリングが可能になります。

美瑛町バージョンに差し替え

〇添付資料
パンフレット(表) (社会実験の概要) (PDF形式: 〇KB) 
パンフレット(裏) (社会実験の実施箇所) (PDF形式: 〇KB) 

※「サイクルスポーツ施設」であることが分かるのぼり等について、富良野で使用しているものを利用予定
※入口における表示例は、「しまなみサイクルオアシス」ホームページ(<http://www.cycle-oasis.com>)より引用

(5) 利活用の促進（地域との連携）～社会実験で設置する設備～

【議論のポイント】

- ・どの程度の設備を用意したらよいか

入り口における標示

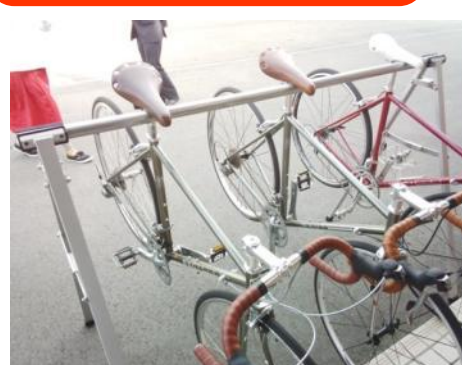


社会実験実施箇所であることを
わかりやすく明示するため、
施設入り口にサインを標示

図案については美瑛町観光協会
との協議より決定する。

※しまなみ海道サイクリングロード整備事例

サイクルスタンド



市販されている。15,000円前後。
一番シンプルで簡易
／雰囲気・個性はない
折りたたみ可能、最大5台まで

空気入れ



自転車の種類によってはバルブが
異なるため、全バルブ対応
の空気入れが必要か？

5,000円前後。
米式、英式、仏式バルブ対応

工具等ユーティリティ



携帯タイプ。1,500円前後
ドライバー・六角レンチ、
パンク修理キット

3.今後のワーキンググループ開催スケジュール(案)

平成28年度WG開催スケジュール(案)

○第1回

平成27年11月6日

○第2回

平成28年3月4日

○第3回

平成28年6月8日

○第4回

平成28年9月

- ・第4回WGの事務局整理(案)について
- ・看板等の案について、社会実験結果を踏まえた地域との連携について
- ・PR方法等について

○第5回

平成28年10月

- ・第5回WGの事務局整理(案)について
- ・地域との連携等について
- ・PR方法等について